

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市燕沢児童館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》	・ 令和3年度 15,583人 (前年度比 92.9%) ・ 令和2年度 16,768人 ・ 令和元年度 19,624人
	《事業》	・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》	( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 35,092千円 (39,627千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
	《収入》	・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、児童館地域連絡会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

## 二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>コロナ禍で思うように行事・活動ができない中、燕沢児童館の一番の特色である地域連携が出来なくなってしまうよう、地域との結びつきが途切れないよう、地域と協力しながら児童館運営を考えてきました。</p> <p>各行事担当職員を中心に地域の方々と密に連絡を取り合い、行事が開催できるか、中止の時にかわりにできそうな活動はないか、工夫してきました。</p> <p>地域の「おはなしたんぼぼ」による読み聞かせから誕生した、子どもたちによる、子どもたちのための読み聞かせ。今年も夕方の読書タイムになると、たくさんの3年生・4年生が1年生を相手に、自主的にかつ意欲的に読み聞かせをしています。</p> <p>また、最近では炎を見たことがない。そんな生活の中で育っている子どもたちに、夕涼み会で火起こし・マッチ・花火体験をおして、火の楽しさと怖さを体験させています。これも地域のたくさんの方々の協力があって、安心して子どもたちに体験させることができています。</p> <p>令和3年度の重点目標は、「運動遊びを中心として互いに協力し合い規則を守る子どもを育てる」です。遊戯室で遊ぼう等の活動をとおして、個人で運動する楽しさや集団で遊ぶおもしろさを体感させ、その活動をとおして協力することや規則を守ることの大切さを子どもたちに育んでいます。</p> <p>子育て支援の地域拠点として、乳幼児親子を対象に季節感を感じながら活動できる行事を開催しています。コロナ禍で出かけることが難しい乳幼児親子が、子育て支援クラブや民児協等の協力を得ながら、児童館で楽しく活動に取り組んでいます。その活動をとおしてお互いに知り合いになり、平日の自由来館と一緒に児童館を利用して、楽しくコミュニケーションをとっている姿が見られます。</p> <p>今後も、地域との繋がりを大切にして、地域の児童館として運営してまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、「はたおり」「囲碁・将棋」「折り紙」「畑作り」「大工さんに挑戦」など地域ボランティアの方々の協力を得て多彩な行事を土曜日に企画し、人気の企画は複数回開催するなどより多くの子ども達が好きな活動を選んで参加できるよう工夫している。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、1歳以上の子ども達は申込制、0歳児は保護者同士の交流が深まるよう登録制で行い、季節の行事や運動遊び・触れ合い遊びなど、乳幼児への豊かな遊びを提供した。「子育てサロン」「ものづくり」は、民生委員や子育て支援クラブの協力のもと内容を工夫して開催し、地域住民同士の交流を広げる拠点としての役割を果たしながら、地域の子育て家庭を支援している。</p> <p>地域交流推進事業においては、各コーナーを地域の方が担当して実施した「ハロウィン」や「善應寺探検」「夕涼み会」は子ども達の豊かな体験と多世代の地域の方との交流の機会となっている。運営委員のアンケートや地域のボランティアの方々から、コロナ禍においても多様な経験をさせたいという意見が多く出され、児童館を中心として連携した協力体制のもとで地域が一体となって充実した事業を展開しており、子どもが地域と関わりながら育つ環境作りに努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、運動遊びと共に共同制作画やミサンガ・数珠玉作り、廃材工作など職員が工夫を凝らした遊びを提供し興味関心を高めながら意欲を育んでいる。「学年集会」での月毎の目標設定や上学年による「読み聞かせ」は継続して行い、主体的に活動できるように支援している。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課